技術・家庭科 《第2学年家庭分野》年間指導計画・評価計画

担当（　熊谷　友美　）

家庭分野の目標
　家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活に必要な基礎的な理解を図るとともにそれらに係る技能を身につけられるようにするとともに、よりよい生活の実現に向けて課題をもって生活をよりよくしようとする能力と生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

月	題材名	指導目標	指導内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価の方法
4	B食生活 1．食事の役割と食習慣 〈2時間〉 ①食事の役割 ②健康によい食習慣	○食事の役割について理解し，毎日の食事に関心をもつ。 ○健康に良い食事について学び，規則正しく食事をとることの重要性を理解する。	・自分の食生活をふり返りながら，食に関する考えを深める。 ・宇宙ステーションでの食事と日常生活の食事とを比べて，グループで話し合う。	・生活の中で食事が果たす役割について理解している。 ・健康によい食習慣について理解している。	・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。 ・自分の食習慣について解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。	・自分の食習慣について，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい食生活の実現に向けて，自分の食生活について，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。 ・中学生に必要な栄養を満たす食事について，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて，中学生に必要な栄養を満たす食事について，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	行動観察 ワークノート ワークシート 定期テスト
5 6	2．中学生に必要な栄養を満たす食事　〈5時間〉 ①中学生の発達と必要な栄養 ②栄養素のはたらきと6つの基礎食品群 ③栄養バランスを目で見て判断	○中学生の時期の身体的特徴を理解し，中学生に必要な栄養の特徴がわかる。 ○食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。 ○1回の食事を目で見て栄養のバランスがとれているか判断できるようにする。	・食事摂取基準から中学生に多く必要な栄養素を見つけ出し，その理由を考える。 ・五大栄養素の種類について確認する。 ・食品に含まれる栄養素と，食品成分表の見かたを理解する。 ・1回の食事の栄養バランスを判断できる。	・中学生の1日に必要な食品の種類について理解している。 ・栄養素の種類と働きが分かり，食品の栄養的な特質について理解している。			
	4．日常食の調理 〈3時間〉 ①調理の計画 ②おいしさと調理	○調理の流れと手順がわかり，計画を立てることができる。 ○おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。	・調理に必要な手順や時間を考え，調理計画を工夫する。 ・混合だしをつくるなどの体験を通して，おいしさと調理の関係を理解する。	・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに，適切にできる。	・日常の1食分の調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定している。	・日常の1食分の調理について，課題の解決に主体的に取り組んでいる。	行動観察 ワークノート ワークシート 定期テスト

7	６．献立づくり 〈３時間〉 １日分の献立	○持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。	・自分の「朝食」「昼食」の献立を立て，1日に必要な栄養を満たす「夕食」の献立を考えて，中学生に必要な栄養を満たす１日分の献立を考える。	・１日分の献立を作成する方法について理解している。	・中学生の１日分の献立について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。	・中学生の１日分の献立について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	行動観察 ワークノート ワークシート
9	３．さまざまな食品とその選択　〈４時間〉 ①生鮮食品の選択と保存 ②加工食品の選択 ③食品の安全と情報	○生鮮食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。 ○加工食品の特徴がわかる。 ○目的に応じて加工食品を選択できる。 ○食品を選択するとき，食品の安全や情報に関心をもって選択できる。	・生鮮食品の特徴と表示内容，保存方法を知る。 ・加工食品の特徴と表示内容などを知る。 ・食の安全を保っているしくみを知り，食品の情報を適切に判断して選択できる。	・日常生活と関連付け，用途に応じた生鮮食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。 ・日常生活と関連付け，用途に応じた加工食品の選択について理解しているとともに適切に選択できる。 ・食品の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに，適切に選択できる。	・食品の選択について問題を見いだして課題を設定している。 ・食品の選択について解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。	・食品の選択について，課題の解決に主体的に取り組んでいる。 ・よりよい生活の実現に向けて，食品の選択について，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	行動観察 ワークノート ワークシート 定期テスト
10 11	４．日常食の調理 〈６時間〉 ③ますます好きになる肉の調理 ④こんなにおいしい魚の調理 ⑤好きになる野菜の調理	○肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり，肉を調理することができる。 ○魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり，野菜を調理することができる。 ○野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり，野菜を調理することができる。	・肉の調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて，肉の調理をする。 ・魚の調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて，魚の調理をする。 ・野菜の調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気をつけて，野菜の調理をする。	・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに，基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・魚に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに，基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・野菜に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに，基礎的な日常食の調理が適切にできる。	・日常の１食分の調理の仕方や調理計画について解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現している。	・日常の１食分の調理について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	
	５．地域の食文化 〈３時間〉 地域の食文化	○地域で生産される食材を知り，それを使う意義と和食の調理を理解する。	・地域や季節の食材について調べる。 ・だしを使った和食の実習を通して，郷土料理や行事食のよさについて気づく。	・地域の食文化について理解しているとともに，地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	・和食の調理について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表	・和食の調理について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し	

					現するなどしている。	創造し，実践しようとしている。	
12	７．持続可能な食生活 〈１時間〉 持続可能な食生活をめざして	○持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。	・食品ロス，食料自給率など食生活のさまざまな問題を把握し，持続可能な食生活を送るためにできることを考える。		・社会や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した食生活について考え，工夫している。	・よりよい食生活を目指して，食事の役割や栄養，献立，調理などについて，工夫し創造し，実践しようとしている。 ・自立した消費者として，社会や環境について，課題の解決に主体的に取り組み，工夫し創造し，実践しようとしている。	行動観察 ワークノート ワークシート
	Ｃ１.家庭生活と消費 〈２時間〉 ①消費生活のしくみ ②家庭生活における収入と支出	○物資とサービスの特徴がわかる。 ○消費生活のしくみがわかる。 ○収支のバランスをはかり，計画的に金銭管理する必要があることがわかる。	・「わたしの興味関心」で自分の生活をふり返りながら，消費生活・環境に関する考えを深める。 ・自分の生活を支えているものについてあげる。 ・優先順位を考え，自分にとっての計画的な金銭管理とは，どのようなことかを考え，まとめる。	・物資・サービスについて理解している。 ・計画的な金銭管理の必要性について理解している。	・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定しているとともに解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。	・商品（物資・サービス）の選択と金銭管理について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	行動観察 ワークノート ワークシート 定期テスト
1	２.購入・支払いと生活情報 〈２時間〉 ①いろいろな購入方法 ②購入前に知っておくこと ③いろいろな支払い方法 ④情報を活用した上手な購入	○収支のバランスをはかり，計画的に金銭管理する必要があることがわかる。 ○店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。 ○売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め，理解する。 ○即時払い，前払い，後払いの特徴を理解し，利点と問題点を理解する。 ○生活情報の収集や活用のしかたを理解し，目的に合った商品を選ぶことができる。	・優先順位を考え，自分にとっての計画的な金銭管理とは，どのようなことかを考え，まとめる。 ・店舗販売と無店舗販売（通信販売）の長所と短所について話し合い，発表する。 ・契約の意味やルールをワークシートにまとめる。 ・三者間取引の仕組みや，キャッシュレス化の影響について理解する。 ・商品を購入するときは，情報を集めること，価格だけではなく，品質，表示やマーク，環境などを検討し選択することを考える。	・購入方法や支払い方法の特徴が分かり，計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組みについて理解している。 ・支払い方法の特徴が分かり，計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定しているとともに、解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。	・計画的な金銭管理について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	行動観察 ワークノート ワークシート 定期テスト

2	３.消費者被害と消費者の自立　　〈３時間〉 ①なくならない消費者被害 ②消費者を支えるもの ③消費者の権利と責任	○消費者被害の現状や背景について理解し，予防の方法がわかる。 ○消費者を支えるしくみについて理解できる。 ○消費者の権利と責任について理解し，自立した消費者をめざす。 ○購入を通して消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解する。	・教科書や地域の消費生活センターの資料から中学生に多いトラブルの内容を知り，自分の経験を発表する。 ・消費者を支える機関や法律の必要性を知る。 ・消費者の８つの権利と５つの責任を身近な事例等を通して理解する。	・消費者被害の背景とその対応について理解している。 ・消費者被害の背景とその対応について理解している。 ・消費者の基本的な権利と責任について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定しているとともに、解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。	・消費者被害の対応について，課題の解決に主体的に取り組み，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて，消費者の権利と責任について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	
3	４.持続可能な社会　　〈２時間〉 ①消費行動が社会に与える影響 ②消費行動が環境に与える影響 ③世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ	○環境に配慮したライフスタイルを選択し，実践できる。 ○持続可能な生活にするために，自分たちができることを考える。	・自分たちができるエシカル消費について考える。 ・環境を考えて家庭でも取り組めることを具体的に考える。 ・SDGｓの特に１２の目標においての自分の取り組み方について考える。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 ・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定しているとともに、解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどしている。	・よりよい生活の実現に向けて，社会や環境について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	